

石巻赤十字 看護専門学校の 復興に向けて



東日本大震災による津波にのみこまれ、甚大な被害を受けた石巻赤十字看護専門学校。教員も学生も被災し、学校運営の基盤まで失うという過酷な状況から、石巻専修大学の一角を仮校舎としての授業再開にまで漕ぎ着けた道のりは、どのようなものだったのでしょうか。

ここでは、被災後の学校運営を指揮した立場、その支援に携わった立場から当時を振り返っていただきます。実際の災害時対応の様子、現在もなお残されている課題や継続して必要な援助について考えるきっかけにしていだければと思います。

いつどこで、どんな災害が発生するかわかりません。『3.11』の衝撃が風化することなく、皆さんの今後の学校運営・危機管理につながる「経験」となることを願います。